

新刊紹介

■極樂莊嚴

大谷光瑞氏講話

本書は大谷光瑞氏が滿洲佛教青年會の爲に大正七年の夏大連本願寺別院に於て講述したもの、筆録である。梵本無量壽經の題號たる *Skṣhāvatī vyūha* 卽樂有る莊嚴——極樂莊嚴を題目とした大無量壽經の講話である。大無量壽經に關する諸問題、無量壽佛と極樂との同異、大無量壽經の模範的研究者、大無量壽經と他の一切經、大無量壽經の聽衆、大無量壽經の説法と阿難陀の發問、四十八願と三種莊嚴、極樂莊嚴成就の真相、極樂國の大衆と其原因、信疑によりて胎生化生あり、釋尊此法を彌勒に附屬すとの諸項に就いて康僧鎧鐸の大經を中心とし、菩提流支譯の無量壽如來會及梵本大經を参照し、淨土論及論註を參考して、大經の綱概を簡明に叙述し、博物學上の例なきを豊富に用いて、廣く宗學上の問題等が誰にでも理解し易く説明されてゐる、殊に康僧鎧や世親の故國等に就いて支那、中亞、印度の史學地理學的知識の披歷されてあ

るこゝや、古來宗學者の當惑した點又は原典に據らねば注意の届かぬ範圍なきが梵本の精細な文法的分解を施して語義の上から確められた所及び西藏蒙古の諸譯に至るまで一瞥を加へた言語學上の造詣なきは他の大經講話等に會て見られない獨特な天地であらう。併し全般に亘りて吾々の情意生活に響き來るべき何等の宗教的情緒が動いてないのは大經の講話として物足りない氣がする。(四六版、二六七、裝幀優雅、價一八〇、京都興教書院發行)(益)

■グリユンエーデル氏の印度佛教藝術第二版

アルバート、グリユンエーデル氏の *Buddhistische Kunst*

in Indien は印度佛教藝術研究上の權威であつて、伯林で發行された有爲なものである。一九〇一年 *L. Fuchs* 氏によつて英譯され、井上哲次郎堀謙徳氏合著の釋迦牟尼傳附錄佛教書類目錄(三八七)に擧げらるゝ處である。グリユンエーデル氏は昨一九一九年重ねて原草第二版を公にした。戰時中觸逸はたゆまず學術研究の方面にも勞作を積んだのであるが、特に東洋學方面に於ても出來得る

限り研究を發表して居たことが近時わが國にも知らる、やうになつた。本書の如きも單に第二版の刊行であるけれども、この點から注意すべきものであつて、研究に對する緊張が偲ばれるのである。第一版と詳細に比較する暇がないから、今回は紹介するにこゝめる。(正)

◎最近佛教研究關係

圖書論文一覽

●圖書

極樂莊嚴

大谷光瑞著(價一、八〇) 京都興教書院(一月)

聖德太子和讃集

橋川正編(價〇、三〇) 京都法藏館(二月)

●雜誌

文獻上より觀たる佛像の起原

(岩崎眞澄) 史學雜誌(三一ノ二)

京阪地方現存佛像の一瞥

(佐々木恒清) 歴史と地理(五ノ三)

佛教藝術に於ける實在性的考察の起原

(吉田修夫) 密教研究(三)

新刊紹介

密教の正意 (金山法龍) 同

陀羅尼義章 (長谷部隆謫) 同

顯密二教比較研究 (瀬成世眼) 同

現代思想と密教 (神林隆淨) 同

東寺觀智院の五大虚空藏に就て (戸部隆夫) 同

東寺金剛藏に收藏せらる、高野山開版の佛典に就て (大屋徳城) 同

佛書の梵語植物(續)

(根村任三) 東洋學藝雜誌(二七ノ一二)

長尾氏と一向宗 (長沼賢海) 歴史地理(三五ノ一二)

親鸞門侶と鎌倉 (鸞尾敦導) 同 (三五ノ二)

善光寺草創考 (喜田貞吉) 同 (三五ノ二)

蓮生法師 (森本樵作) 同

草木成佛論 (清水龍山) 大崎學報(五五)

最蓮房上人傳に就て(一)

(岡教遂) 同

妙法華分科の沿革(四)

(鹽田義遜) 同